若潮 わかしお

崎辺中学校
校長室だより

令和２年　９月１６日(水)　No. ２７　文責　萩原郁子
教育目標　「確かな学力をもち、心豊かで、
　　逞しく生き抜く生徒の育成」
校　　訓　「質実剛健　親和敬愛」





紫苑(しおん)　～第37回　体育大会～
赤と青の融合　よきライバルであれ

４月から５月にかけての臨時休校や全国的な感染拡大を受けて、毎年５月に開催していた体育大会を９月に延期していました。夏休み中にもやや心配な状況があり、体育大会や修学旅行の９月開催も危ぶまれましたが、現在は落ち着いた状況にあり実施に踏み切りました。例年と違って半日開催で、プログラムも少なくなりましたが、生徒たちは、短い時間に一生懸命練習を重ねてきました。

特に３年生の最後の体育大会への思いは強いものがあり、３年だけでも応援合戦をしたいと各クラスとも頑張って練習し素晴らしい演技を見せてくれました。

本番では、昨年１０月から取り組んできた全校生徒によるデンマーク体操、全員リレー、学級対抗リレーなど、会場を盛り上げてくれました。保護者の皆さまも、今年度初めての行事参観で、楽しく見ていただいたのではないかと思います。一生懸命頑張った生徒への温かい声援、拍手そして撤去作業の協力までしていただき、ありがとうございました。

【素晴らしかった３年生の応援】






【生徒会長・実行委員長
あいさつと決意】




【全力での競技・演技】




ダメ!!ゼッタイ!! NO と断る勇気をもとう!!
ー薬物乱用防止教室ー



　３年生を対象に薬物乱用防止教室を実施しました。昨今、薬物使用の低年齢化が問題となっており、例年、中学３年生で実施していた薬物乱用防止教室は、小学校でも行われるようになってきています。講師は、色々な機関の方がしてくれます。学校薬剤師の先生や警察、保護司会、商工会議所など、様々な視点からお話を聞くことができます。今回は、犯罪を犯した人の再出発を支え「更生保護ボランティア」をされている保護司の皆様にお願いしました。
　なぜ薬物乱用はいけないのか、どんな害があるのか、丁寧に教えてくれました。心身の成長期にある中学生にとって、薬物は心も体もメチャクチャに壊してしまう恐ろしい作用があります。
　インターネットや通販で巧妙に売られていて、一見薬物と分かりにくく手に入りやすい薬物もありますが、決して興味本位で使用したり近づいたりしてはいけません。その後の人生を大きく左右してしまうことになります。保護司さん達の話をしっかり受け止めてほしいと思います。





　７月に予定していた修学旅行は新型コロナウィルス感染状況により延期にしていましたが、来週、９月２４日から２５日、一泊２日で実施します。当初の目的地、関西方面はいまだ感染状況が収まっていないため、安全を期して県内コースに変更しました。なお、市内各学校の規模や他の行事計画等によって実施状況には違いがありますので、ご理解ください。

［１日目］　学校出発　―　有田ポーセリングパーク（有田焼絵付け体験）　―
―　雲仙岳災害記念館（見学・被災地フィールドワーク）　―
―　島原城・武家屋敷　※宿泊　島原市

［２日目］　島原　―　大村　―　ハウステンボス（班別活動）　―　学校帰着

【目　的】（１）　郷土の自然・文化・産業等に接することにより，広い知識を得る。
（２）　集団生活の規律，公衆道徳の大切さを理解し，節度ある生活，責任，協力の必要性等を体得する。
（３）　寝食を共にする中で，生徒相互，生徒と教師のふれあいや理解を深める。
（４）　中学校生活の有意義で楽しい思い出をつくる。



　コースや日程は変わっても修学旅行の目的は同じです。バスの中やホテルでのレクリエーションも計画しています。３年生にとって、中学校でみんなと過ごせる時間は残り少なくなっています。一生に一度の中学校での修学旅行。楽しく学んで、良い思い出を作ってほしいと思います。出発まで、新型コロナウィルスの状況が悪くならないことを祈っています。